

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 9-13

1 事務事業の表示

※ ■：該当

| | | | | |
|---------------|--|-------------|----------------------|------------|
| 事務事業名 | 公園維持管理費 | | | |
| 評価者 | 担当課・係名 | 建設水道課・都市計画係 | | |
| | 課長等 | 職名 | 課長 | 作成者 |
| | | 氏名 | 大場利昭 | 氏名 |
| | | | | 職名 |
| | | | | 係長 |
| | | | | 氏名 |
| 事業の概要 | 公園等の利用者が、憩いの場として、楽しく安全に利用してもらうため、公園施設等の草刈り、清掃及び公園施設遊具等の修繕を行う事業であります。 | | | |
| 事業の位置付け | 第5期総合計画 | ■登載事業 | | □非登載事業 |
| | 政策目標 | 4 | うるおい雄武～生活環境・生活基盤の充実～ | |
| | 基本政策 | 18 | 住環境の整備 | |
| | 単位施策 | 3 | 公園緑地の充実 | |
| | 事務事業の種類 | ■自治事務 | | □法定受託事務 |
| | その他計画・根拠等 | | | |
| 事業コスト (実績) | 年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度(予定) |
| | 総事業費 | 5,471千円 | 5,353千円 | 5,750千円 |
| | 総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源) | 5,471千円 | 5,353千円 | 5,750千円 |

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

| | | | | |
|---------------------------------|--|-------|--------------------------------|---|
| 【誰、何が(対象)】 | 公園等の利用者 | 指標／目標 | 望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) | |
| 【抱える課題や二一ズは】 | 財政状況により、草刈、清掃回数及び遊具の修繕費が減少されるおそれがある。 | | 管理対象公園等施設数 | |
| 【どのような状態になることを目指すのか(意図)】 | 公園等の利用者が安全に利用できる公園施設を目指す。 | | 指標(指標計算式/解説) | 目標値及び実績値 |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的 | 公園等の利用者が楽しく安心して利用できる公園施設が図られる。 | | ①管理対象公園等施設数 | 目標年度 19年度 目標値 11施設 実績値 11施設 達成度 100% |
| | | ② | 目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 % | |
| 内 容 (どのような手段で何を行ったか) | | | | |
| ①公園等の維持管理は、民間委託により実施 | 民間業者の入札により、公園等の草刈、清掃を委託している。 | | | |
| ②遊具修繕は、民間業者による工事の実施 | (社)日本公園施設業協会認定業者の見積り合わせにより、工事を発注し公園遊具の修繕を実施している。 | | | |
| ③ | | | | |

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

| | | |
|--------------|--|---|
| 必要 | <input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 | 公園等の利用者が安心して利用してもらうためには、草刈、清掃の実施及び遊具の修繕は欠くことのできないものであり、町で維持していくことは必要不可欠である。当該事業を実施しない場合は、安全性の確保ができない。 |
| 必要／概ね必要／課題あり | | |

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

| | | |
|--------------|---|-----------------------------------|
| 有効 | 設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る | 当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全な利用が図られた。 |
| 有効／概ね有効／課題あり | | |

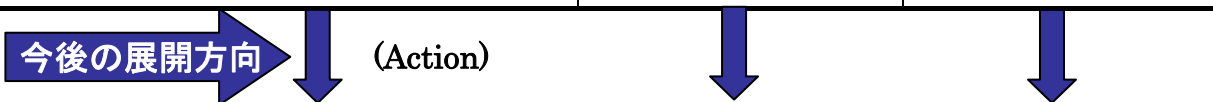
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

| | | |
|----------------|---|-------------------------------|
| 概ね効率的 | 判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他 | 他所管施設と一括発注としており、経費の軽減が図られている。 |
| 効率的／概ね効率的／課題あり | | |

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

| 自己評価 (一次評価) | 評価会議評価 (二次評価) | 町長評価 (三次評価) |
|--|---------------|-------------|
| A | | |
| 公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく利用してもらうため、また、豊かな緑地が存在する公園等を保全するためにも必要不可欠である。 | | |



| | | |
|---|--|--|
| 継続／現状維持 | | |
| 公園等の利用者が安全で楽しく利用してもらうため、また、公園等の緑地を保全するためにも現状維持が適当である。 | | |

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 9-14

1 事務事業の表示

※ ■：該当

| | | | | |
|---------------|--|-------------|------------------------|------------|
| 事務事業名 | 雄武都市対策事業 | | | |
| 評価者 | 担当課・係名 | 建設水道課・都市計画係 | | |
| | 課長等 | 職名 | 課長 | 作成者 |
| | | 氏名 | 大場利昭 | 職名 |
| | | | | 氏名 |
| | | | | 係長 |
| 事業の概要 | 北海道により実施されるオコツナイ川・ポンオコツナイ川整備に伴う北海道との協議、打ち合わせ及び河川流域住民による環境整備の検討をするための事業であります。 | | | |
| 事業の位置付け | 第5期総合計画 | ■登載事業 | | □非登載事業 |
| | 政策目標 | 5 | ささえあい雄武～協働によるまちづくりの推進～ | |
| | 基本政策 | 22 | 住民主体のまちづくりの推進 | |
| | 単位施策 | 3 | 住民との協働体制の構築 | |
| | 事務事業の種類 | ■自治事務 | | □法定受託事務 |
| | その他計画・根拠等 | | | |
| 事業コスト (実績) | 年 度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度(予定) |
| | 総事業費 | 18千円 | 166千円 | 56,900千円 |
| | 総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源) | 18千円 | 166千円 | 8,900千円 |

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

| | | | | |
|---------------------------------|---|-------|--------------------------------|----------|
| 【誰、何が(対象)】 | 町民・河川 | 指標／目標 | 望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) | |
| 【抱える課題やニーズは】 | 北海道の財政状況による、河川整備事業の進捗。 | | 水害対策防止の推進 | |
| 【どのような状態になることを目指すのか(意図)】 | 安全で災害に強い河川整備を目指す。 | | 指標(指標計算式/解説) | 目標値及び実績値 |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的 | 河川の氾濫防止と河川流域の整備が図られる。 | | ①水害対策防止の推進 | 目標年度 |
| | | | 目標値 | |
| | | | 実績値 | |
| | | | 達成度 | 100% |
| | | ② | 目標年度 | 年度 |
| | | | 目標値 | |
| | | | 実績値 | |
| | | | 達成度 | % |
| 内 容 (どのような手段で何を行ったか) | | | | |
| ①雄武町の検討委員会において河川流域の環境整備について検討 | オコツナイ川、ポンオコツナイ川の河川流域住民を中心に河川整備地域検討委員会を設立し、河川流域の環境整備について検討するための委員会を開催し、河川環境整備について報告書を取り纏め、雄武町に報告。雄武町は北海道に要望。 | | | |
| ②北海道の河川整備検討委員会において河川整備計画について検討 | オコツナイ川・ポンオコツナイ川の河川整備事業に伴い、地域の意見、要望等を反映した河川整備計画を作成するため、北海道による河川整備計画検討委員会を設立し、河川整備計画(原案)が取り纏められた。 | | | |
| ③北海道との協議、打ち合わせ | オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走土木現業所、網走土木現業所興部出張所と協議、打ち合わせを行った。 | | | |

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

| | | |
|--------------|--|---|
| 必要 | <input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 | 水害防止対策と平行して、河川流域の環境整備について、北海道、町、住民による検討の推進が必要である。 |
| 必要／概ね必要／課題あり | | |

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

| | | |
|--------------|---|--|
| 有効 | 設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る | 当該事業を実施したことにより、将来完成となる河川と調和のとれた河川環境の内容が取り纏められた。 また、北海道の河川整備検討委員会の開催により、河川流域の意見、要望を反映した河川整備計画が取り纏められた。 |
| 有効／概ね有効／課題あり | | |

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

| | | |
|----------------|---|-----------------------------------|
| 概ね効率的 | 判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他 | 無報酬による検討委員会を実施したことによりコストの軽減が図られた。 |
| 効率的／概ね効率的／課題あり | | |

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

| 自己評価 (一次評価) | 評価会議評価 (二次評価) | 町長評価 (三次評価) |
|---|---------------|-------------|
| A | | |
| 河川整備に伴い変化する河川流域の環境について、河川流域住民と検討していくことが必要であり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。 | | |



| | | |
|---|--|--|
| 継続／現状維持 | | |
| 河川整備地域検討委員会で取り纏められた整備内容に基づき、平成20年度からの事業実施に向け、北海道、地域住民との協議、打ち合わせが、必要であるため、継続、現状維持が適当である。 | | |

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項